



防災 記入チェック欄

状況に応じた避難を ～地震発生後の避難は状況に応じて判断しましょう～

地震発生!

身の安全を確保

安全な場所に避難

自宅の安全確認

避難所へ

備蓄品は準備しているか

身の安全確保のポイント
「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」

自宅近くの震火災避難広場

近所の公園や広場

安全確認のポイント
自宅が壊れていないか
近くで火災のおそれはないか

親戚や知人宅へ避難

自宅が安全であれば
自宅避難する

自宅近くの避難所

「身の安全を確保した後」の行動



正しい情報を集める

- ラジオやテレビ、市役所、消防、警察など信頼できるところから正しい情報を集める。
- 災害時に増えるデマやウワサにまどわされないようにする。

救護活動に協力する

- 倒れた家や家具の下じきになった人などがいたら、みんなで協力して救出・救護する。
- 市役所や自主防災組織の指示にしたがって、安全で効率的な協力をする。

近所の安全を確認する

- 自宅の安全が確認できたら、近所の安全を確認する。
- とくに高齢者世帯など要配慮者がいる家に、積極的に声をかける。

避難の前に安全確認

- 火災などの二次被害を防ぐために、電気のブレーカーを落とし、ガスの元せんをしめてから避難するほか、感震ブレーカーによる対策を行う。

